

市では普通会計（一般会計と看護専門学校特別会計）で行っている事業の他に、市立病院事業、水道事業、下水道事業、国民健康保険事業や介護保険事業など、市民の皆さんと密接な事業を行っています。また、こうした市自ら行う事業とは別に公益法人など関係団体を通じて行う事業もあります。そこで、普通会計のほかに、市を構成する特別会計や市と連携協力して行政サービスを実施している関係団体や法人を一つの行政サービス実施主体とみなして、その資産および負債・行政コスト・資金収支などの状況を明らかにする「連結ベースの財務書類」を作成しました。

なお、連結に際し各会計間、法人間での取引などは連結グループ内の内部取引として相殺消去しています。

市全体

普通会計

一般会計
看護専門学校特別会計

特別会計

下水道事業特別会計
国民健康保険特別会計
後期高齢者医療特別会計
介護保険特別会計
介護予防支援事業特別会計
市立病院事業会計
水道事業会計

連結団体

富士吉田市土地開発公社
(公財)富士吉田体育協会
(福)富士吉田市社会福祉協議会
(福)富士吉田市社会福祉事業団
富士五湖広域行政事務組合
山梨県市町村総合事務組合
山梨県後期高齢者医療広域連合

連結財務書類4表

①貸借対照表(バランスシート) ②行政コスト計算書
③純資産変動計算書 ④資金収支計算書

市民1人あたりの資産	257万4千円
市民1人あたりの負債	73万1千円
市民1人あたりの 行政サービスの提供	43万5千円

貸借対照表は、決算日において所有する資産等がどのくらいあるかを示したもので、資産・負債・純資産の三つの要素から構成されています。表の左側は資産の部で、行政サービスを行うために保有している財産を表します。公共サービスは長期にわたって使用・保有できる資産、流動資産は手持ちの現金や銀行に預けてある預金、一年以内に現金化を予定している資産のことです。表の右側は、これまでのような負債の部は、第三者に形成してきたかを表したもので、負債の部は、第三者に返済義務がある債務です。純資産の部は、既に返済済みのものや国庫補助金などを表しています。表の左右が必ずずりあうように作成しています。「バランスシート」とも呼ばれています。

資産の形成につながらない、当該年度の行政サービスに係る費用を表したものです。

生活保障給付に係る「移転支出的なコスト」が全体の約8割を占めていることがわかります。

また、サービスの受益者として皆さんが負担する利用料や手数料などの経常収益は約2.9億円、一般財源や補助金で補っています。

[illegible]

ト約7分務の資のキも
の83すで収公収の状い
の34補収支公収の況
の億0。い、支資の備
の金2。の、で、のシ
。円万単、赤字となっ
。円円年度収支は黒字
。年度収支は黒字とな
。末の赤字となつた
。スシ。の残高は

④資金収支計算書